



本日の
プログラム

インターアクトクラブバッジ授与式 札幌東ロータリークラブに入ろう！ 岡澤邦幸会員増強委員長

就任挨拶(3) 各理事

瀬尾昌資 会計

当時、人事で忙しくしていた井上会長エレクトと小山副幹事の横に居合わせたことが、運の尽きでした。「会計をやっていただけませんか」と話があり、気楽な気持ちで「ハイ、わかりました」と返事をしましたら、なんと毎月1回の理事会に参加する理事・役員でした……。

田中さん、酒井さん、大谷さん、佐藤さんを差し置いて、会計に縁のない私がなぜと今も思っています。

私のやることは、BS/PLや収支を見る事でしょうが、特に変な支出がないかを見るのかなど？勝手に解釈しています。

ロータリーメンバーとの支払いは、きちんとされているか？

ロータリーメンバー以外の方々に対する支払いについて、気を使いながら行われているか。こちらの都合を優先してないか？

これから先、メンバー数の減少が予想され、決算が良い内容ではない場合の剰余金の扱いについても、会長幹事と理事会で打ち合わせをしていきたいと思えます。基金につきましては、剰余金とは違いますので、違う会議で話し合われると思えます。

些細なことしかできませんが、できる範囲で頑張っていきたいと思えます。

ありがとうございました。

喜多伸行 社会奉仕委員長

社会奉仕委員長を拝命いたしました、入会5年目の喜多伸行です。

私は入会当初、例会・メイクアップを交互にて、出席しておりました。例会時は開始時間ギリギリに来ておりました。あまり良くない会員でした。

言い訳ではないですがマネージメントとプレーヤーを行っていた事もあり、時間にも余裕がない事が多く、迷惑をおかけしていたと痛感しております。私の行動を見ていた方が、改善して

欲しいと思われたのか？3年目に副SAAを拝命していただきました。皆様には当たり前の事かもしれませんが、副SAAになってから例会には早く出席して、欠席もなくなり、成長させていただきました。感謝しております。

入会当初よりは、自分の時間を使えるようになりました。井上会長より社会奉仕委員長の依頼を受けた時は、自分で出来るか半信半疑でしたが、井上会長のためと思い喜んで引き受けました。

昨年は、社会奉仕副委員長を務めまして、色々経験させていただきました。前任の嶋中委員長が素晴らしく、大変勉強になりました。感謝しております。まだ新型コロナの影響により計画が中止される事もありますが、活発な行動をしていきたいと思っております。

新年度最初の事業、月寒川にぎわい川まつりを、と思っておりましたが中止になり、ライフジャケットの寄附を致しました。

来年度開催に向けて川まつり連絡協議会と打合せをしていきたいと思っております。

活動計画と致しまして過年度からの継続となる「ろう者とのフットサル交流会」を開催の予定です。7月のロータリーの友にも掲載され注目されている事業と考えています。

また、もう一つの事業「ユニバーサルカーリング大会」も来年5月6日・7日開催を予定しております。

井上会長の運営方針「ロータリー重点分野の実現に向けて、SDGs運動を通じ、すべての人と社会が持続可能な豊かさを実現できるように活動を推進しよう！」を念頭にSDGsの持続可能な17のゴールの1つとして「3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」を目標として活動したいと思っております。

社会奉仕委員はもちろんです、全会員と共に活動していきたいと思っております。微力ですが、一年間よろしくおねがいたします。

八木 徹 国際奉仕委員長

国際奉仕委員長を拝命致しました八木です。よろしくお祈りします。国際奉仕委員会と致しまして、三点目標を掲げました。

一つ目は、青少年交換プログラムです。

青少年交換プログラムが一時停止されていましたが、2023-24年度に再開されますので、それに合わせて活動していきます。

二つ目は、国際交流です。

2023年5月27日～31日にオーストラリアの第二の都市、メルボルンで行われるRI国際大会への参加の呼び掛けを行います。当クラブは参加者の登録料を補助いたします。

三つ目は、関係委員会との連携です。

国際奉仕に関わるロータリー財団委員会、米山奨学委員会、世界社会奉仕委員会の活動を各委員会との合同FSMを通じて理解し、連携を取りながら行っていきたくと思います。2510地区と当クラブが行なって来た地区国際奉仕検証ツアーなど、当クラブ会員に広く知ってもらおう事を各委員会と協力して進めていきます。

コロナ禍が続いている為、メンバーの名前と顔が一致いたしません。特にここ何年かに入会した新会員の方々とのコミュニケーションが取れていないので、各委員会とのFSMを行いたいと思いますので、各委員長お誘いをお願いします。

石田剛毅 青少年奉仕委員長

青少年奉仕委員長を拝命しました石田です。

微力ながら誠心誠意努めて参りますので、会員の皆様にはご指導ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

昨年度、青少年奉仕委員会では、不動委員長はじめ会員の皆様のご尽力により、北海高等学校インターアクトクラブ設立50周年式典を、1年遅れで開催することができました。

50年の振り返りやインターアクトクラブ会員との交流など、和やかでとてもいい機会になりました。

今期もペットボトルキャップの収集や、書き損じはがきの回収、花園学院への奉仕活動の継続、社会奉仕委員会活動への積極的参加など、今まで続けてきた伝統を守り、青少年奉仕委員会活動に取り組んで参ります。

岡澤邦幸 会員増強委員長

会員増強委員長という大役でプレッシャーを感じておりますが、精一杯職責を全うしたいと思います。来週の例会で「会員増強について」を卓話させていただきますので、本日は手短に私の想いをお伝えいたします。

当クラブは今年で64年を迎えますが、なぜ64年も続いたのでしょうか？当クラブの先達会員

や、ここにいらっしゃる現役会員が、真剣に会員増強に取り組んでいただいたからに他なりません。64年もの間、絶え間なく会員増強を行っていただいたので、現在も当クラブが存続しているのです。

当クラブは来年65周年を迎え、6年後には70周年、16年後には80周年、36年後にはなんと100周年を迎えます。会員がいなければ周年を迎えることはできませんし、そしてロータリーの存在意義である奉仕活動を行うこともできません。私たち現役会員は未来のロータリークラブに対してクラブを存続させる責任があります。従って、未来のロータリークラブのために、「会員増強」を真剣に取り組まなければなりません。会員増強は未来への投資です。未来への約束です。

本年度の当委員会のスローガンは、「会員増強なくして、未来の札幌東ロータリークラブは存在しえない！」となっております。この思いをもって1年間頑張りますので、よろしくお願いいたします。

出倉恵隆 ロータリー財団委員長

ロータリー財団は、クラブにとっては多くの点で目に見えない存在です。よく「ロータリー財団は何をやっているのか分からない」という声を聞きます。しかし、ロータリー財団が特別なのは、寄附をするだけでなく、自分たちの奉仕活動に役立てられる点です。ポリオ撲滅活動をはじめ、国際理解・友好・親善という願いを込めて「世の中の全ての人が幸せでありますように」と、ロータリアンの崇高な善意を形で表すものであります。

井上会長年度では、あらためてロータリー財団への理解を深め、ロータリー財団を支援し、会員の好意と友情のもと、ロータリー活動の一助となるよう尽くして参りたいと存じます。



瀬尾昌資
会計



喜多伸行
社会奉仕委員長



八木 徹
国際奉仕委員長



石田剛毅
青少年奉仕委員長



岡澤邦幸
会員増強委員長



出倉恵隆
ロータリー財団委員長